

はじめに

大学における学修が中学校や高等学校と異なるのは、自らが自らの責任において毎年の学修計画を立て、卒業に必要な単位を満たしていくという点にあります。

この『履修の手引』は、受講する科目の選択・登録から試験・単位の修得、さらには進級・卒業等の重要な手続や要件を、学則や関係する諸規程等に基づいて編集したものです。

毎年、『履修の手引』や掲示の見落とし、誤った解釈等による履修手続の不備や期限遅れが原因で、受講したい科目が受けられなくなるばかりか、進級・卒業できずに留年するような事態が起きています。こうした事態を未然に防ぐためにも、学年の始めには常にこの『履修の手引』を携帯し、機会あるごとに参照して正しい認識の下に各自で学修計画を立ててください。もし不明なところがある場合は、自己流の解釈をせず、学事課（教務担当）に相談し、解決するように努めてください。

なお、『履修の手引』の記載内容が変更された場合は、掲示でお知らせしますので、見落としのないように注意してください。

『履修の手引』の構成について

各ページにある
インデックスを
利用すると
掲載項目が一目で
分かります。

I
共通事項（全学生共通）

1
授
業

I 共通事項（全学生共通）

全学生を対象とした項目です。

ただし、項目によっては、入学年度・学科別に掲載されている箇所がありますので、注意してください。

授 業

1

履 修

2

試験・成績

3

単位認定制度

4

学 籍

5

その他

6

教務事務

7

教育課程の構成

8

進級・卒業

9

教育課程表

10

他学部・他学科開放科目／
産学連携教育プログラム

11

教職課程

12

編

II 編入学生特記事項

編入学生を対象とした項目です。

編入学生のみを対象とした制度等について掲載されています。

※各項目の詳細は次のページの
目次を参照してください。

目次

2022年度学年暦／建学の精神／明海大学の教育のポリシー／三つのポリシー／学部長メッセージ／学科概要

I 共通事項

1 授業

1 授業	1
[1]学 期	1
[2]授業時間	1
[3]授業の出席	1
[4]授業の欠席	2
[5]休 講	3
[6]補 講	3
2 授業科目	3
[1]開 講 期	3
[2]配 当 年 次	3
[3]授業科目の種類	3
3 単 位 制	4
[1]単位制とは	4
[2]単位を修得するための学修時間	4
[3]各授業科目の単位数	4
[4]単位の認定	4

2 履修

1 履修のルール	5
[1]履修登録とは	5
[2]履修単位数の上限	6
[3]クラス指定	6
[4]再 履 修	7
[5]履修できない科目	7
2 履修登録方法	8

3 試験・成績

1 試 験	11
[1]試験の種類	11
[2]定期試験の欠席	12
[3]試験日程・受験手続	12
[4]試 験 時 間	13
[5]受験資格・受験上の注意	13
2 成 績	14
[1]成績評価・成績表記	14
[2]GPA(成績平均点数制)	15
[3]成績発表	16
[4]成績調査	16

4 単位認定制度

1 単位認定制度について	17
2 各制度の内容及び申請方法等	18
[1]既修得単位	18
[2]知識及び技能に係る審査の成果	20
[3]派遣留学生(約半年~1年間の海外留学)	28
[4]派遣留学生(短期海外研修)	29
[5]派遣学生(国内)	29
[6]インターンシップ	30
[7]GSMインターンシップ	30
[8]ボランティア活動	31
[9]GSMボランティア	31

5 学 籍

1 修業年限と在学期間	32
2 学籍の異動	33
[1]休 学	33
[2]復 学	34
[3]退 学	34
[4]除 籍	34
[5]復 籍	34
[6]転学部・転学科	34

6 その他

1 明海多言語コミュニケーションcommons(MLACC)	35
2 コンピュータ・コンサルティング・サロン(CCS)	35
3 科目等履修生	36
4 研 究 生	36

7 教務事務

1 証 明 書	37
2 事務取扱時間	38
3 問い合わせ	38
4 学生への連絡	39
[1]Webポータルシステムによる掲示配信	39
[2]掲示板の場所と掲示内容	39
5 シラバス	40
6 manaba	41
7 メールアカウントの付与	41
8 交通機関の運休又は自然災害等による休講措置	41

8 教育課程の構成

1 授業科目の構成	43
2 専門科目	45
[1] 専攻概要	45
[2] 専攻登録	46
[3] 専攻変更	47
[4] 日本語教員養成課程修了証明書	47
3 履修のガイドライン	49
4 カリキュラムマップ(履修系統図)	55
5 クラス担任制	67

9 進級・卒業

1 進級	68
[1] 進級要件	68
[2] 進級発表	70
2 卒業	71
[1] 卒業要件	71
[2] 卒業単位充足者・卒業予定者発表	80
[3] 学位	80
3 年次(学期)別基準単位数	81

10 教育課程表

教育課程表	91
-------	----

11 他学部・他学科開放科目/産学連携教育プログラム

他学部・他学科開放科目の履修	118
産学連携教育プログラムの履修	123

12 教職課程

1 趣旨	125
2 取得できる免許状の種類	125
3 免許状の授与条件	125
4 教職課程の履修	125
5 教職課程の履修開始から教育職員免許状取得まで	126
6 教職課程表	127

II 編入学生特記事項

1 修業年限と在学期間	135
2 2年間の学修計画	135
3 既修得単位の認定	135
[1] 包括・弾力認定	135
[2] 個別認定(α)	
—英米語学科2022年度編入学生—	135

4 専攻選択(2022年度編入学生)	136
5 卒業要件	137
6 その他	138
[1] クラス指定	138
[2] 修得(認定)済科目の履修	138
7 教育課程表(編入学生用)	139

2022年度 浦安キャンパス学年暦

■前学期 4/1 (金) ~ 9/14 (水)

□ : 通常授業実施日

◻ : 休日授業実施日

◻ : 試験実施日

2022/ 4 April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
3/27	28	29	30	31	1	2	4/1(金) 3/25(金) 3/28(月) 3/29(火)	学年始め オリエンテーション(3年) オリエンテーション(4年) オリエンテーション(2年)
		← 履修登録期間 →						
3	4	5	6	7	8	9	3/29(火)~4/1(金) 3/30(水)~4/1(金) 3/30(水)~4/5(火) 3/31(木)	履修登録期間・履修相談期間 オリエンテーション(新入生・編入学生) 単位認定申請期間 産学連携教育プログラム履修ガイダンス 入学式
10	11	12	13	14	15	16	4/4(月) 4/5(火)	前学期授業開始
		← 履修登録修正期間 →						
17	18	19	20	21	22	23	4/11(月) 4/12(火) 4/13(水) 4/14(木) 4/15(金)	学生定期健康診断(1年) 学生定期健康診断(2年) 学生定期健康診断(3年) 学生定期健康診断(4年) 学生定期健康診断(予備日)
→							4/12(火)	単位認定発表
24	25	26	27	28	29	30	4/12(火)~17(日) 4/29(金) 4/30(土)	履修登録修正期間 休日授業実施日(昭和の日) 前学期授業料等納入期限
					昭和の日			

5 May

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1	2	3	4	5	6	7	5/6(金)・7(土) 5/17(火)	振替休日(休業) 創立記念日(休日授業実施日)
		憲法記念日	みどりの日	こどもの日	休業日	休業日		
8	9	10	11	12	13	14		
15	16	17	18	19	20	21		
		創立記念日						
22	23	24	25	26	27	28		
29	30	31						

6 June

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4	6/1(水)~30(木)	クリーンキャンペーン月間
5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30				

7 July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
					1	2	7/8(金) 7/18(月) 7/23(土) 7/25(月)~30(土)	前学期定期試験時間割発表 休日授業実施日(海の日) 前学期授業終了 前学期定期試験期間
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18 海の日	19	20	21	22	23		
24 31	25	26	27	28	29	30		

8 August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
	1	2	3	4	5	6 休業日	8/1(月) 8/1(月)~9/14(水) 8/6(土)	前学期定期試験欠席届提出期限 夏季休暇 振替休日(休業)
7	8	9	10	11 山の日	12	13	8/19(金) 8/19(金)・22(月) 8/19(金)・22(月)	9月卒業単位充足者発表 前学期追(再)試験時間割、該当者発表 前学期追(再)試験受験手続期間
14	15	16	17	18	19	20 休業日	8/20(土) 8/23(火)~25(木)	振替休日(休業) 前学期追(再)試験期間
21	22	23	24	25	26	27 休業日	8/26(金) 8/27(土)	単位認定申請期限(前学期成績反映分) 振替休日(休業)
28	29	30	31					

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3 休業日	8/1(月)~9/14(水) 9/3(土) 9/5(月) 9/5(月)	夏季休暇 振替休日(休業) 9月進級発表 9月卒業予定者発表
4	5	6	7	8	9	10 休業日	9/5(月) 9/5(月)・6(火) 9/5(月)~8(木)	前学期成績発表 前学期成績調査願提出期間 4年(8学期) 前学期成績調査願提出期間 1年(1学期)~4年(7学期)
11	12	13	14				9/7(水)~12(月) 9/10(土) 9/14(水)	履修登録修正期間(授業開始前) 振替休日(休業) 9月学位記授与式

履修登録修正期間 ← (from Wed 7 to Sat 10)

履修登録修正期間 → (from Sun 11 to Mon 12)

■後学期 9/15 (木) ~ 3/31 (金)

□ : 通常授業実施日

◻ : 休日授業実施日

◻ : 試験実施日

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			7	8	9	10	8/1(月)~9/14(水)	夏季休暇
			履修登録修正期間				9/7(水)~12(月)	履修登録修正期間(授業開始前)
						17	9/8(木)	オリエンテーション(9月進級者・復学者)
11	12	13	14	15	16		9/10(土)	振替休日(休業)
履修登録修正期間							9/14(水)	9月入学式
18	19	20	21	22	23	24	9/15(木)	後学期授業開始
	敬老の日		履修登録修正期間				9/19(月)	休日授業実施日(敬老の日)
					秋分の日		9/21(水)~23(金)	履修登録修正期間(授業開始後)
25	26	27	28	29	30		9/23(金)	休日授業実施日(秋分の日)

10 October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
						1	10/10(月)	休日授業実施日(スポーツの日)
							10/31(月)	後学期授業料等納入期限
2	3	4	5	6	7	8		
9	10	11	12	13	14	15		
	スポーツの日							
16	17	18	19	20	21	22		
23	24	25	26	27	28	29		
30	31							

11 November

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
		1	2	3	4	5	11/1(火)~30(水)	クリーンキャンペーン月間
				文化の日			11/11(金)~14(月)	明海祭(休講)※準備、片付けを含む。
6	7	8	9	10	11	12	11/23(水)	休日授業実施日(勤労感謝の日)
13	14	15	16	17	18	19		
20	21	22	23	24	25	26		
			勤労感謝の日					
27	28	29	30					

12 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3	12/16(金)	後学期定期試験時間割発表
							12/26(月)~	冬季休暇
							2023年1/7(土)	
4	5	6	7	8	9	10	12/28(水)	振替休日(休業)
11	12	13	14	15	16	17		
18	19	20	21	22	23	24		
25	26	27	28	29	30	31		
			休業日					

2023/ 1 January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1 元日	2 振替休日	3	4	5	6	7	12/26(月)～ 2023年1/7(土)	冬季休暇
8	9 成人の日	10	11	12	13	14	1/10(火)～12(木)	後学期補講期間
15	16	17	18	19	20	21	1/10(火)～12(木) 1/13(金)	休講日 大学入学共通テスト準備日(休講)
22	23	24	25	26	27	28	1/14(土)・15(日) 1/16(月) 1/23(月)	大学入学共通テスト(休業) 後学期授業再開 後学期授業終了
29	30	31					1/24(火)～30(月) 1/31(火) 1/31(火)	後学期定期試験期間 単位認定申請期限 4年(8学期) 後学期定期試験欠席届提出期限
							1/31(火)	春季休暇開始

2 February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4 休業日	2/4(土)	振替休日(休業)
5	6	7	8	9	10	11 建国記念の日	2/13(月) 2/13(月)・14(火)	卒業単位充足者発表 後学期追(再)試験時間割、該当者発表
12	13	14	15	16	17	18 休業日	2/13(月)・14(火) 2/15(水)～17(金)	後学期追(再)試験受験手続期間 後学期追(再)試験期間
19	20	21	22	23 天皇誕生日	24	25 休業日	2/18(土) 2/24(金)	振替休日(休業) 単位認定申請期限
26	27	28					2/25(土)	1年(1学期)～4年(7学期) 振替休日(休業)

3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4 休業日	3/1(水)	卒業予定者発表
5	6	7	8	9	10	11	3/1(水) 3/1(水)・2(木)	成績発表 4年(8学期) 成績調査願提出期間 4年(8学期)
12	13	14	15	16	17	18	3/4(土) 3/15(水)	振替休日(休業) 学位記授与式
19	20	21 春分の日	22	23	24	25	3/15(水) 3/15(水)	進級発表 成績発表
26	27	28	29	30	31		1年(1学期)～4年(7学期) 3/16(木)～22(水)	成績調査願提出期間 1年(1学期)～4年(7学期)
							3/31(金)	学年終了

注意 学年暦の変更、授業に直接関係のある緊急事項及び諸行事等の詳細日程・場所等については随時掲示で告知します。
また、休業日は事務窓口取扱等は一切行いません。

建学の精神

社会性・創造性・合理性を身につけ、
広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす

社会性

今や、人類共存の理念は、地球の資源問題、環境問題を抜きに考えられない時代を迎えました。地球規模で進行しつつある高齢化社会に伴う労働社会問題、低迷を続ける国際経済問題、発展途上国における社会経済問題等々、解決すべき問題は山積しています。これら全人類の課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、和を重んじ、心豊かな社会性に富む人間を育成し、学際領域にも及ぶ総合的教育研究を行います。

創造性

今日、科学技術・学術研究の先端が次々に新しい展開をしており、大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しています。しかし、大切なことは、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければなりません。人類の生き方について、未来からの挑戦を受けていると言われる今日において、学問の世界は、まさに自然科学はもとより人文・社会科学などの分野においても激動の時代を迎え、学際的な領域から価値の見直しが迫られています。知の継承、創造の拠点である大学はより国際競争力を強化し、大学の多様性を発揮して、このような時代において、総合的見地から、国際未来社会を切り拓く創造性豊かな教育研究を行います。

合理性

高度情報化社会を迎え、情報量は増大し、情報なくして個々の人間は、自己の意思決定すら出来ない感を呈しています。科学技術の発達、人々の生活様式を変え、価値観にも大きな影響を及ぼすことから、科学技術の独り歩きは許されることはありません。従って、科学技術のコントロールの完全を期するとともに人間性の発揚に心がけ、未来社会を切り拓く信念が重要となります。このため、合理性ある教育研究の場を醸成します。

このように本学の建学の精神は、社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成を目指すものであります。

明海大学の教育のポリシー

本学では、「建学の精神」に基づき、大学全体としての
ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、
アドミッション・ポリシーを定めている。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

明海大学は、厳格な成績評価の下、建学の精神としての社会性（変わりゆく社会の中でも課題を発見し、主体的に解決する、思考力や判断力）の資質、創造性（自らの求めゆく理想に到達するための思考過程や技術の創造と表現力）の資質、そして合理性（主体的に行動する自律性・自立性と自己の確立）の資質が認められる人材を学位授与の基礎とし、各学部学科および研究科にて基準を定めている。

※ディプロマ・ポリシーとは、各大学、学部、学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるもの。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

明海大学は、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たすという創造性を建学の精神の一つとしている。大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しながらも、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければならない。その意味において、1) 大学生としての学修を通じて社会性、創造性、そして合理性を身につけ明海大学の人間力を形成するための基盤を形成する基礎教育、自らの知識技能を高める人間力形成科目、そして培った力を社会で発揮するためのキャリア教育を共通科目に置き、2) 各学部学科および研究科のディプロマ・ポリシーに到達するためのカリキュラムを専門科目として配置している。

※カリキュラム・ポリシーとは、ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方針を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

明海大学は、建学の精神「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成」をめざして、豊かな人間力を基盤とした高度専門職業人養成を含む幅広い職業人養成を教育の目的としている。そのため、入学予定者には、学業、技術・技能、文化、芸術、スポーツなどの分野で活躍した体験を活かし、入学後、本学での学修を通して、これからの国際社会で通用する実力を身につけ、将来、各分野で活躍したいという強い意志を持つ学生を求めている。さらに、生涯学習社会の到来に対し、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく資質を有する人材の育成を目途として、生涯学習型学修に意欲的に取り組み、自己の更なる確立をめざす者を求めている。

※アドミッション・ポリシーとは、各大学、学部、学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学修成果（「学力の3要素」についてどのような成果を求めるのか）を示すもの。

・「学力の3要素」…①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

三つのポリシー

—日本語学科—

2021年度以降入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

日本語学科では、主体的に判断・行動する教養をもち、グローバル時代のさまざまな問題に向き合える人物を育てることを目標としており、次の要件を満たした者に学士（日本語学）の学位を授与する。

【日本語専攻】

- ①日本と世界の文化・社会・歴史の多面性を把握することができる。
- ②日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力が身につけている。
- ③日本語（国語）、日本語教育、国語教育を理解し、応用できる。

【グローバル・スタディーズ専攻】

- ①日本語、英語、中国語を用い、適切に情報を集約・分析し、表現することができる。
- ②自己の主張をグローバル的視野で的確に表現できる。
- ③多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる。
- ④対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

日本語学科のカリキュラムの最大の特徴は「日本語教育ができる国語教員」を育成できるという点にある。日本語と日本文化を深く理解した上で「国語（母語としての日本語）」や「日本語（外国語としての日本語）」を教え、海外に日本文化を伝える能力を育成することを目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 少人数編成のクラスにおいて、基礎学力の育成（1年次）、専門分野における課題探求能力の涵養（2年次）、専門領域別研究の推進（3年次）、卒業研究による学修の集大成（4年次）を段階的に指導し、職業人としての総合力の育成を図る。
- 2 3年次進級要件に日本語検定3級を課し、確かな日本語運用能力を育成する。
- 3 各専攻の概要
 - (1) 日本語専攻では、国語科教員・日本語教員、または編集者等日本語を専門とする職業人として活躍するために必要な高度な日本語運用能力や指導力を涵養する。
 - (2) グローバル・スタディーズ専攻では、日本語、英語、中国語を身につけ、さらに日本及び周辺諸国・地域の文化、社会、経済、ビジネスを幅広く学び、国際的なセンスと人間力を養う。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

日本語学科では、日本語と日本文化、外国語と外国文化の深い造詣を求め、学ぼうとする意欲を持ち、さらに身につけた言語力、言語教育力、教養力を生かして国際社会で活躍することを志望する次のような人材を求めている。

- 1 日本語専攻では、学校教育における国語科教員、国内外の機関での日本語教員、言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究を志望する人
- 2 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍しようとする人

対応する入試【総合型選抜（AO）】【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】【総合型選抜（生涯学習型社会人）】

- 3 日本語専攻では、学校教育における国語科教員、国内外の機関で言語教育に関わる仕事を志望する人
- 4 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍する意欲のある人

対応する入試【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】

- 5 日本語専攻では、母国での日本語教員、日本語教育に関わる仕事を志望する人で、基礎的な日本語運用能力を有し、入学後の日本語運用能力と日本文化の知識を高めようと努力する強い意志のある人
- 6 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力を身につけ、日本と母国との発展に貢献する強い意志を持ち、国際社会で活躍する意欲のある人

対応する入試【外国人留学生特別入試】

- 7 日本語専攻では、国語科教員、日本語教員、その他言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究者、また編集者など日本語についての見識を生かす職業を志望する人
- 8 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、異文化適応力を身につけ、日本社会と国際社会に貢献する意欲を持つ人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】

三つのポリシー

—日本語学科—

2020年度以前入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

日本語学科では、主体的に判断・行動する教養を持ち、グローバル時代のさまざまな問題に向き合える人物を育てることを目標としており、次の要件を満たした者に学士（日本語学）の学位を授与する。

【日本語専攻】

①日本と世界の文化・社会・歴史に多面的な関心を持ち、②日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力を身につけ、③日本語（国語）、日本語教育、国語教育の問題解決に寄与できる。

【グローバル・スタディーズ専攻】

①日本語、英語、中国語を用い、情報を適切に集約・分析・表現ができる、②自己の主張を的確に表現できる、③多様な文化を理解し自らの文化を発信できる、④対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

日本語学科のカリキュラムの最大の特徴は「日本語教育ができる国語教員」を育成できるという点にある。日本語と日本文化を深く理解した上で「国語（母語としての日本語）」や「日本語（外国語としての日本語）」を教え、海外に日本文化を伝える能力を育成することを目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 少人数編成のクラスにおいて、基礎学力の育成（1年次）、専門分野における課題探求能力の涵養（2年次）、専門領域別研究の推進（3年次）、卒業研究による学修の集大成（4年次）を段階的に指導し、職業人としての総合力の育成を図る。
- 2 3年次進級要件に日本語検定3級を課し、確かな日本語運用能力を育成する。
- 3 各専攻の概要
 - (1) 日本語専攻では、国語科教員・日本語教員、または編集者等日本語を専門とする職業人として活躍するために必要な高度な日本語運用能力や指導力を涵養する。
 - (2) グローバル・スタディーズ専攻では、日本語、英語、中国語を身につけ、さらに日本及び周辺諸国・地域の文化、社会、経済、ビジネスを幅広く学び、国際的なセンスと人間力を養う。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

日本語学科では、日本語と日本文化、外国語と外国文化の深い造詣を求め、学ぼうとする意欲を持ち、さらに身につけた言語力、言語教育力、教養力を生かして国際社会で活躍することを志望する次のような人材を求めている。

- 1 日本語専攻では、学校教育における国語科教員やスポーツ指導者、国内外の機関での日本語教員、言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究を志望する人
- 2 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍しようとする人

対応する入試【AO入試】【スポーツ・文化活動特別入試】

- 3 日本語専攻では、学校教育における国語科教員、国内外の機関で言語教育に関わる仕事を志望する人
- 4 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍する意欲のある人（日本語検定3級以上が望ましい）

対応する入試【推薦入試】

- 5 日本語専攻では、母国での日本語教員、日本語教育に関わる仕事を志望する人で、基礎的な日本語運用能力を有し、入学後の日本語運用能力と日本文化の知識を高めようと努力する強い意志のある人
- 6 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力を身につけ、日本と母国との発展に貢献する強い意志を持ち、国際社会で活躍する意欲のある人

対応する入試【外国人留学生特別入試】

- 7 日本語専攻では、国語科教員、日本語教員、その他言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究者、また編集者など日本語についての見識を生かす職業を志望する人
- 8 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、異文化適応力を身につけ、日本社会と国際社会に貢献する意欲を持つ人

対応する入試【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】

三つのポリシー

—英米語学科—

2021年度以降入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

英米語学科では、次の要件を満たした者に、学士（英米語学）を授与する。

- 1 国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力が身につけている。
- 2 言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力が身につけている。
- 3 社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格が身につけている。
- 4 教育・研究の分野で活躍できる能力が身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

英米語学科は、英語による実践的なコミュニケーション能力の修得とその基盤となる文化的背景の理解を深めることを目指すと共に、グローバル社会の進展を見据え、多言語能力（英語＋中国語等）と国際教養（諸外国の文化・社会・ビジネスに関する基礎知識）の涵養を目指し、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 1、2年次の必修英語プログラム「Intensive English Program (IEP)」を中心に、週6コマのレベル別少人数クラスで、英語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）の育成を図る。
- 2 2年次からは、英米語専攻（English Language Major,ELM）とグローバル・スタディーズ専攻（Global Studies Major,GSM）からなる2専攻制に移行し、目標進路の達成に必要な基礎力及び専門能力の養成を図る。
- 3 各専攻の概要
 - (1) 英米語専攻では、言語や文化や教育についての理解やスキルの向上を目指す「英米語・英米文化関連科目」を中心に履修することにより、高度で実践的な英語力と幅広い教養を身につける。
 - (2) グローバル・スタディーズ専攻では、「グローバル・スタディーズ関連科目」（コア科目、地域研究科目等）を中心に履修することにより、グローバル人材に必要なとされる素養（実務的語学力、ビジネス思考等）を身につける。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

英米語学科では、英語コミュニケーション能力と、多言語・多文化・歴史・ビジネス等についての幅広い教養や資格を武器に、社会のさまざまな分野で活躍することのできる力を育てることを目指している。

そのため、英語を学ぶことに対して強い意欲を持つと同時に、次に示すような資質、興味・関心、目標を持つ人材を求めている。なお入学時に CEFR-A2 レベル以上と認められる英語運用能力を持つことが望ましい。

- 1 健全な倫理観と責任感を持ち、目標実現のために粘り強く、自律的に努力することができる人

対応する入試【総合型選抜（AO）】

- 2 継続的な活動を通じて成果をあげた経験をもとに、英語を学ぶことに対して不断の努力をする強い意欲を持つ人

対応する入試【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】

- 3 世界の言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について学び、深く理解することに意欲を持つとともに、学校で提供される諸科目に真摯に取り組み、幅広く学んでいる人

対応する入試【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

- 4 豊かな教養と実社会で通用する知識・技能や資格を身につけ、英語を通して持続可能な国際未来社会創造に貢献する意欲を持つ人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（生涯学習型社会人）】

なお、英米語学科では、主として英語と日本語の基礎学力をベースに入学者選抜を行っている。特に、英語については、高等学校の学習指導要領に基づく基本的な英語の知識とスキルを修得しておくことが必要である。また、一定の文章力と口頭表現力が必要となるため、日本語の基礎学力も求められる。入学後には多分野にわたる科目の履修が要求されるため、得意・不得意の違いはあれ、学校で提供される諸科目に真摯に取り組み、幅広く学んでいることが期待される。

三つのポリシー

—英米語学科—

2020年度以前入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

英米語学科では、次の要件を満たした者に、学士（英米語学）を授与する。

- 1 国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力を身につけていると判断できる。
- 2 言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力を身につけていると判断できる。
- 3 社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格を身につけていると判断できる。
- 4 教育・研究の分野で活躍できる能力を身につけていると判断できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

英米語学科は、英語による実践的なコミュニケーション能力の修得とその基盤となる文化的背景の理解を深めることを目指すと共に、グローバル社会の進展を見据え、複言語能力（英語＋中国語等）と国際教養（諸外国の文化・社会・ビジネスに関する基礎知識）の涵養も目指し、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 1、2年次の必修英語プログラム「Intensive English Program (IEP)」を中心に、週6コマのレベル別少人数クラスで、英語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）の育成の徹底を図る。
- 2 2年次からは、英米語専攻（English Language Major,ELM）とグローバル・スタディーズ専攻（Global Studies Major,GSM）からなる2専攻制に移行し、目標進路の達成に必要な基礎力及び専門能力の養成を図る。
- 3 各専攻の概要
 - (1) 英米語専攻では、言語や文化や教育についての理解やスキルの向上を目指す「英米語・英米文化関連科目」を中心に履修することにより、高度で実践的な英語力と幅広い教養を身につける。
 - (2) グローバル・スタディーズ専攻では、「グローバル・スタディーズ関連科目」（コア科目、フィールドワーク科目等）を中心に履修することにより、グローバル人材に必要なとされる素養（実務的語学力、ビジネス思考等）を身につける。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

英米語学科では、英語コミュニケーション能力と、複言語・複文化・歴史・ビジネス等についての幅広い教養や資格を武器に、社会のさまざまな分野で活躍することのできる力を育てることを目指している。

そのため、英語を学ぶことに対して強い意欲を持つと同時に、次に示すような資質、興味・関心、目標を持つ人材を求めている。

健全な倫理観と責任感（他者への思いやり、協働の精神、時間や約束を守る強い意志など）を持ち、目標実現のために粘り強く、自律的に努力することができる人
対応する【AO入試】

継続的な活動を通じて成果をあげた経験をもとに、英語を学ぶことに対して不断の努力をする強い意欲を持つ人
対応する入試【スポーツ・文化活動特別入試】

世界の言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について学び、深く理解することに意欲を持つとともに、学校で提供される諸科目に真摯に取り組み、幅広く学んでいる人
対応する入試【推薦入試】

豊かな教養と実社会で通用する能力（知識・技能）や資格を身につけて、国際未来社会で活躍することに意欲を持つとともに、一定レベルの英語力（できれば英検2級以上、少なくとも英検準2級以上の英語力）を身につけている人
対応する入試【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】

なお、英米語学科では、主として英語と日本語の基礎学力をベースに入学者選抜を行っている。特に、英語については、高等学校の学習指導要領に基づく基本的な英語の知識とスキルを修得しておくことが必要である。また、一定の文章力と口頭表現力が必要となるため、日本語の基礎学力も求められる。入学後には多分野にわたる科目の履修が要求されるため、得意・不得意の違いはあれ、学校で提供される諸科目に真摯に取り組み、幅広く学んでいることが期待される。

三つのポリシー

—中国語学科—

2021年度以降入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中国語学科では、次の要件を満たした者に学士（中国語学）の学位を授与する。

- 1 中国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく修得し、中国語による情報収集ができ、中国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
- 2 アジアにおけるグローバル社会に適応する能力として、中国の歴史・文化・経済・社会についての体系的知識を有し、これらの分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論することができる。
- 3 多様な文化的背景を持つ人々と協働していくために、コミュニケーションに必要な実践的言語力（中国語・英語・日本語）を有するとともに、主体的に異文化コミュニケーションを実践することができる。
- 4 中国語専攻学生は、通訳・翻訳に通じる高度な中国語能力を持ち、中国の文化・社会に対する知識を有し、中国語を必要とする仕事において活躍できる。
- 5 グローバル・スタディーズ専攻学生は、経済・経営・会計・統計などビジネスに必要となる知識を持ち、グローバル社会で活躍できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

中国語学科は、実践的な中国語力を涵養し、各専攻に特化した中国語運用能力、専門知識の修得を目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 1、2年次には、独自の教授法により、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を育成するとともに、中国の社会、歴史、文学、思想についての基本的知識の修得を図る。
- 2 2年次からは、二つの専攻ごとにその特色を生かした専門科目を段階的に学ぶことにより、それぞれの専攻分野の基礎力及び進路に応じた高度な能力の養成を図る。
- 3 各専攻の概要
 - (1) 中国語専攻では、教員、通訳、出版、広く社会での一般職の職業を目指す者に、中国語学・中国文化を体系的に学んで、中国語教授力及びことばの高度な運用力の育成を図ると同時に、豊かな感受性、自己表現能力、抽象的思考力を身につける。
 - (2) グローバル・スタディーズ専攻（GSM）では、中国語による実践的語学力を養成した上で、現代社会についての幅広い知識を身につけ、現代のビジネス社会が求める社会学的教養を修得して、21世紀社会に脚光を浴びるであろう東アジア、東南アジア社会を中心に、国際ビジネス社会で活躍できる能力を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

中国語学科では、いまや世界有数の経済大国となった中国の重要性を認識し、国際未来社会で活躍するひとつの方法として、中国語を核とする言語運用能力、関連する歴史・文化・経済・社会などの教養を身につけ、実践的コミュニケーション能力を涵養していくことに強い意欲のある次のような人材を求めている。

- 1 中国語習得に対して強い意欲を持ち、学修が一定の水準に達するまで努力を重ねる力のある人
- 2 異文化コミュニケーションに主体的に関わる意欲のある人

対応する入試【総合型選抜（AO）】【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】

- 3 高等学校における授業内容を十分に理解し、勉学において継続的かつ着実に努力する力のある人
- 4 中国語を身につけ、関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養を修得し、国際社会で自らの力を発揮していくことに強い意欲のある人

対応する入試【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】

- 5 外国語学習の基礎となる十分な国語力と、学習経験のある外国語について一定の達成が見られる人
- 6 中国語を身につけ、関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養の修得に向けて、不断の努力を続ける力があり、広く国際未来社会で活躍しようとする意欲のある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】

- 7 日本で中国語を学んでいくための基礎となる十分な日本語力を有し、中国語および関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養を修得して、広く国際未来社会で活躍しようとする強い意欲のある人

対応する入試【外国人留学生特別入試】

- 8 少人数制で集中的に独自のカリキュラムを用いて中国語を学修し、加えて関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養をも修得して、国際未来社会を支える有為な人材となる強い意志のある人

対応する入試【総合型選抜（生涯学習型社会人）】

三つのポリシー

—中国語学科—

2020年度以前入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中国語学科では、次の要件を満たした者に学士（中国語学）の学位を授与する。

- 1 中国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく修得し、中国語による情報収集ができ、中国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
- 2 アジアにおけるグローバル社会に適応する能力として、中国の歴史・文化・経済・社会についての体系的知識を有し、これらの分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論する力を修得していると判断できる。
- 3 多様な文化的背景を持つ人々と協働していくために、コミュニケーションに必要な実践的言語力（中国語・英語・日本語）を有するとともに、主体的に異文化コミュニケーションを実践する能力を修得していると判断できる。
- 4 中国語専攻学生は、通訳・翻訳に通じる高度な中国語能力を持ち、中国の文化・社会に対する知識を有し、中国語を必要とする仕事において活躍し得る能力を修得していると判断できる。
- 5 グローバル・スタディーズ専攻学生は、経済・経営・会計・統計などビジネスに必要となる知識を持ち、グローバル社会で実践的に活躍し得る能力を修得していると判断できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

中国語学科は、実践的な中国語力を涵養し、各専攻に特化した中国語運用能力、専門知識の修得を目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 1、2年次には、独自の教授法により、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を育成するとともに、中国の社会、歴史、文学、思想についての基本的知識の修得を図る。
- 2 2年次からは、二つの専攻ごとにその特色を生かした専門科目を段階的に学ぶことにより、それぞれの専攻分野の基礎力及び進路に応じた高度な能力の養成を図る。
- 3 各専攻の概要
 - (1) 中国語専攻では、教員、通訳、出版、広く社会での一般職の職業を目指す者に、中国語学・中国文化を体系的に学んで、中国語教授力及びことばの高度な運用力の育成を図ると同時に、豊かな感受性、自己表現能力、抽象的思考力を身につける。
 - (2) グローバル・スタディーズ専攻（GSM）では、中国語による実践的語学力を養成した上で、現代社会についての幅広い知識を身につけ、現代のビジネス社会が求める社会的教養を修得して、21世紀社会に脚光を浴びるであろう東アジア、東南アジア社会を中心に、国際ビジネス社会で活躍できる能力を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

中国語学科では、物や情報がグローバルに行き交う社会において、コミュニケーション手段としての言語の重要性は明らかなため、日本語、英語の基礎力を持ち、中国語と合わせて、それらを発展させていく意欲のある次のような人材を求めている。

- 1 中国語習得に対して強い意欲を持ち、進級に必要な一定の語学力に達するまで努力を厭わない積極的な人
- 2 異文化コミュニケーションに主体的に関わる意欲のある人

対応する入試【AO入試】

- 3 高等学校における授業内容を着実に理解し、継続的に努力する強い意欲のある人
- 4 経済・社会・歴史・文化など幅広い教養の修得に対し、継続的に努力する強い意思を持った人

対応する入試【推薦入試】

- 5 自らの考えを客観的に整理・要約し、的確な表現で合理的に説明していきたいと考える人
- 6 語学学習だけでなく、経済・社会・文化など幅広い教養の修得に向けて、不断の努力を続ける強い意欲を持つ人

対応する入試【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】

外国語学部で学ぶ学生諸君へ

外国語学部長 中川 仁

外国語学部へようこそ。新入生の学生諸君には、大学生になったという実感が、この「履修の手引」を開いた瞬間にうまれたのではないのでしょうか。また在学生諸君には、コロナ禍ということもあり、学修環境の異なりを余儀なくされるなか、新年度を迎え、新たな気持ちで、継続的な学修に臨んでいただきたいと思います。

外国語学部における学びは、それぞれの学生諸君の「母語」の運用能力を磨き、外国語学修に必要な読む、書く、話す、聞くの四技能を身に付けていくことを主眼とし、その外国語との相関関係にある学問的な分野（人文科学、社会科学、自然科学）をも網羅し、理解することから始まります。つまり外国語を理解するためには、「言葉」を学ぶ或いは、習得していくということのみならず、文化的な背景（その人々が歩んできた歴史的な背景、その人々が育んできた文学的な背景、その人々を形成してきた社会的な仕組み、その人々が生活してきたなかで育まれた慣習）を含めそれを理解し、これらの諸要因が存在してこそ、その「言葉」が成り立っているということ、あらためて理解していただきたいと思います。またそれぞれの「言葉」（日本語、英米語、中国語）には、これらのことがらが潜んでいるということ、その「言葉」が、どのように生成されてきたのかということ、外国語学部で探究していったほしいと思っています。そして「言葉」を運用するための専門的な知識も涵養し、「論理的な思考」を実践していける要素を身に付けていくことを心がけていくことを望みます。大学での学びを基礎とし、社会で実践できる能力をこの外国語学部で養ってください。

外国語学部での4年間の学びを提示します。

1年次は初年次教育として、「学修の基礎」の科目をはじめとし、本学の特色を知り、基礎知識を定着させます。そして外国語研究概論、フレッシュパーソンセミナーⅠ・Ⅱ（1年次ゼミクラス）を中心に、各学科の基礎専門科目を学修し、それぞれの言葉における基礎知識を培養します。

2年次は各学科の特色ある基礎専門科目の始まりです。そして言語専攻とグローバル・スタディーズ専攻に分けられ、専攻別による基礎専門科目を学修していきます。言語専攻では、主に言語の本質を知り、言語文化の探究をしていきます。グローバル・スタディーズ専攻では、経済学及び経営学をはじめとするビジネススキルの基礎を学び、実践的な語学力を培養していきます。これらは課題探求セミナーⅠ・Ⅱ（2年次ゼミクラス）で実践されていくこととなります。

3年次は各学科の専門領域研究講座（3年次ゼミクラス）を通して、専門的な分野に言及していきます。そして将来を視野に入れた活動も開始し、就職活動セミナーにも参加していきます。

4年次は各学科の卒業研究指導が開始され、各ゼミによる指導、論文の執筆、論文発表会などを含め4年間の集大成をしていきます。また同時に就職活動も進めていきます。

この4年間で「言葉」を学びつつ、そして「論理的な思考」を実践していき、「知」を身に付け、グローバル社会で活躍できる行動力をも養っていくことに力を注いでいきましょう。

学科概要

日本語学科

言葉力 人間は「言葉」を使って考えます。人間は、家族、友だち、配偶者、先生、先輩・後輩、同僚・上司・部下など、多くの人と接し、自分の考えや意思や感情を伝え、相手の意図を理解して生きています。「言葉」はコミュニケーションに不可欠のものです。将来どの道を歩もうとも、あなたの国語力・日本語力が求められます。

情報力 現代社会には大量の情報が流れています。どの情報が価値があり、どのように情報を使いこなすか。正確な情報、役立つ情報を見分ける力、正確でわかりやすく情報を発信する力であなたの人生は変わります。

教養力 確かな知識と経験をもとに、論理的に考え、わかりやすく述べる力、自分の考えを他の人に理解してもらう力、その場の雰囲気を読む力、人に好かれる態度や行動などの総合力が社会では必要です。

日本語学科は、生きる力の源＝**学ぶ力**、それを支える**言葉力**、**情報力**、**教養力**を身に付ける学科です。国語力・日本語力と、日本や世界についての豊かな知識と経験を身につけるところです。将来、中学校・高等学校の国語教員及び国内外の非母語話者に日本語を教える日本語教員〔日本語専攻 (JLM: Japanese Language Major)〕、国内外のホテル・観光業、金融業、商業、販売業、製造業、出版業、広告業などでの仕事に就く人材〔グローバル・スタディーズ専攻 (GSM: Global Studies Major)〕を少人数制、担任制、特別対策指導を通じて育てます。

英米語学科

英語による実践的なコミュニケーション能力の習得とその能力の基盤となる文化的背景の理解—これが、本学科の基本的な教育目標です。さらに、グローバル社会の進展を見据え、多言語能力（英語＋中国語）＋ α と国際教養（諸外国の文化・社会・ビジネスに関する基礎知識）の涵養を目指します。

21世紀のグローバル社会で活躍するためには、英語に関するコミュニケーション能力や文化的背景の理解は言うに及ばず、英語以外の外国語についての理解と様々な地域の文化・社会・経済・ビジネスに

ついでに教養を深める必要があります。そのため、本学科では、英米語専攻 (ELM: English Language Major) とグローバル・スタディーズ専攻 (GSM: Global Studies Major) の2専攻を設け、学生それぞれの希望や資質を踏まえて、専門性を高めていきます。ELMに所属する学生は、言語や文化や教育についての理解やスキルの向上を目指す科目を中心に履修することにより、将来の進路達成を目指します。GSMに所属する学生は、ビジネス関連のコア科目、世界の政治・経済を学ぶグローバル科目、フィールドワーク科目等の履修を通して、グローバルな人材に必要な素養を身につけ、卒業後の進路の実現を目指します。

中国語学科

グローバル時代に必要な能力とは何でしょうか。それは、外国語をその社会的背景を含めて理解・運用できる「異文化コミュニケーション能力」と、時代や状況の変化に柔軟に対応し得る「教養力」であると考えています。

世界で第二位と第三位のGDPを誇る中国と日本、そして急成長を続けるASEANを視野に入れるとき、21世紀のグローバル社会の主役の一つがアジアであることは明らかです。この地域で最も話されている言語が中国語と英語であることを考えれば、いま中国語を学ぶ意義も明らかでしょう。本学科では、これまで少し学んだ経験のある人も、全くのゼロからはじめる人も、実用的で「使える」中国語が修得で

きます。たった4年間で実用的な中国語が修得できる理由は、明海大学独自の「明海メソッド」にあります。週8コマの少人数クラスの中国語の授業は、すべての講義が相互に関連を持っており、無理なく文法をマスターし、話せるようになってきます。

中国語専攻 (CLM: Chinese Language Major) では、中国語を訓練し、さらに中国の歴史・社会・文化を理解して、中国に精通した人材の育成を目指しています。

グローバル・スタディーズ専攻 (GSM: Global Studies Major) では、経済や会計などビジネスに直結する講義や、グローバルに活躍する先人たちの話を聞く授業も用意されています。

いずれの専攻も、一人ひとりの「学び」をサポートする、しっかりとしたカリキュラムが用意されています。